

さいたま市立上大久保中学校 第2回 学校運営協議会 議事録

場 所：上大久保中会議室

日 時：令和5年12月18日(月)

場 所：上大久保中学校会議室

参加者：高柳裕美 様 市原重行 様 南 崇子 様

目黒良作 様 鈴木麻子 様

校長 教頭 紺野達郎（学校地域連携C） 吉野優花（事務主事）

欠席者：井原光太郎 様 田澤崇 様 飯島政範 様

次 第 司会：教頭

0 資料確認

1 校長あいさつ

2 授業公開

3 開会宣言：南崇子副委員長

4 学校運営協議会長あいさつ：南崇子副委員長（委員長代理）

5 本年度の学校生活の現状と課題 高久校長の説明

6 熟議

・「学校評価アンケートより ～生徒を地域で活躍させるには～」

○学力について

・基礎学力とは何かを考えると、生きる力や語学力、計算力を身に付ける必要がある。

→家庭学習の充実や地域人材を活用して、学習支援を行ってもらう。

○あいさつについて

・アンケートの回答では、挨拶をしているとの回答が多いが、実際は、地域で挨拶をする生徒が少ない。生徒は挨拶をするために、自分を表現する力やコミュニケーション力を身に付ける必要がある。

→大人からの声掛けがあれば、より一層、子どもたちも挨拶をしやすくなる。

また、小・中交流の機会を作る。

○地域への参加について

- ・地域の一員としての自覚をもてるようになって欲しい。また、この地域で生まれ育って良かったと感じて欲しい
 - 自分が人のために役に立ったという達成感のある体験があると良い。また、中学生がより地域の行事に参加するように、直接行事のプレゼンをするこ
とやチラシの工夫として QR コードを載せる等が挙げられる。
- ・地域の行事に参加し、成功体験や外部人材との交流を行い、自身の成長につ
なげて欲しい。
 - 未来くるワーク体験では、挨拶や態度が非常にしっかりとしていた。その
活躍を認めることも大切である。

○交通ルールやマナーについて

- ・安全面について考える際に、相手の立場の目線で考える力が必要である。
 - ルールやマナーの確認だけでなく、心の面での成長を促す。

○それぞれの悩みについて

- ・最近の子どもは、人間関係が狭く、悩みを話せる大人が必要である。
 - モヤモヤしている気持ち等、自分のことを伝える力が必要である。

○生徒が主体的に考えて行動することについて

- ・大人が子どものレールを敷きすぎない。自分で考えて行動する力を身に付け
る必要がある。
 - 自分で考えて行動する行事の提案をして、生徒に参加してもらう。

7 情報提供

- ・高久校長の説明：体育着と制服の見直し
 - 体育着にある個人名の情報を守る観点からサイズを小さくし、素材も乾きやす
い薄手のものにする。また、ポロシャツの導入も検討。
 - LGBTQ への対応として、制服を男女ユニセックスなモデルに変更を検討
 - 制服を着る理由：学校の統一感を出す。
 - 新しい制服は高いので、ジャケットのみ指定も検討。

8 事務連絡

- ・第3回学校運営協議会委員会 令和5年3月7日(木) 於：上大久保中

9 閉会宣言：南崇子副委員長